

右大臣山名具親殿

長官共

十三年二月十日

三等出仕

左衛門尉藤原清吉

（印）

書記官

記録所

（印）

乙第拾七号

（印）

大天ノ義上申

當使管下根室國以花咲町寄留小林清吉方

引本年一月二十日午後九時十分出火戸數拾二戸延燒

候趣根室支廳より届出候條此段上申候

也

明治十三年二月廿 開拓長官黒田清隆

大政大臣三條實美殿

長官札

三孝在任

書記官

乙第拾八号

官負慰勞金下賜之義上申

吾等属津田善行調

記録課

根室支廳在勤当使御用係根岸美佐男義兼

ニ附属船擇提丸架組以来航路危険ノ場所モ不

備厥職務格別勉勵候ニ付辛未年同濟ニ援キ客

歳十二月十三日為慰勞金百圓下賜取計候条以候

上申候也